

第4学年のありまなビジョン

子どもの実態をふまえた研究仮説

経験や体験をもとにした計画性が足りず、どうやって課題を解決していけばいいのか行き詰ってしまうことも多い実態から、

- ① 課題解決へ向けた体験活動を重視すること
- ② 自分の考えだけではなく、相手の心や状況を想像すること
- ③ 多様な意見から自分の考えをもつこと

上記3つを進めることとあわせて相手意識ももたせることで課題解決をはかりたい。相手の気持ちを理解しながら最終的な判断をすることが大切であると考えた。

教科等横断的な学習活動

総合的な 学習の時間

関係づける
変換する
応用する

体育

関連づける
構造化する

国語

多面的にみる
理由づける
筋道を立てる

道徳

多面的にみる
具体化する

特別活動

見通す
変化をとらえる

思いやり

☆相手の心や状況を
推し量り、想像す
ることができる

努力

☆自ら課題を見つけ、そ
の解決に向けて諦めず
に努力する

相互理解

☆相手のことを理解し、
自分と異なる多様な意
見も大切にする

目指す児童像